



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2022年6月号

私立大学の入学定員の基準が緩和されます

今迄、YES通信でも何回もご案内してきましたが、私立大学の入学定員の厳格化により、私立大学の難易度が極端に高くなってきています。また、それによって追加合格がとんでもなく増えてきたことは今年の1月のYES通信にも書かせていただきました。この追加合格は入学金の二重払いになると社会問題化していました。

そしてついに、文部科学省は、学生の都市部への集中を避けるために厳格化していた私立大の入学定員の基準を、来春入試から緩和する方向で変更する方針を決めました。近年、入試の追加合格が増え、受験生が入学金の「二重払い」を余儀なくされるケースが目立っていました。文科省は、入学者数に関する大学の裁量を広げ、追加合格の減少を目指す。と方針転換せざるを得ない状況になってきたようです。

が入学定員を大幅にオーバーしても、翌年以降に入学者を減らせば、基準をクリアできる。一時的に入学者が増えても、複数年にわたり計画的に入学者を増減できるようになり、大学の裁量が広がる。

大学は一定の入学辞退者を織り込み、定員を上回る合格者を出している。だが16年度以降は、補助金カットの基準が段階的に厳しくなり、徐々に合格者を絞り込んだ。その結果、多くの辞退者が出て入学者が想定より減った場合に、授業料収入のため基準ギリギリまで学生を入学させようと、追加合格を出す大学が増えた。

大手予備校・河合塾が早稲田、慶応、上智、法政、同志社、近畿など首都圏や近畿の有名私大計14大学の追加合格者数を調べたところ、19年春入試は6934人で全合格者に占める割合は4.4%だったが、今春入試では1万7062人(8.2%)に増えた。文科省は「大学受験は若者の人生を左右する。追加合格が増えすぎるのは好ましくない」と問題視していた。

私大の一般入試は2月中下旬の合格発表が多い。通常、合格後の入学金支払期限は1〜2週間程度で、入学しなくても原則、返還されない。追加合格の発表は、3月下旬にすれ込むこともある。

志望順位の高い大学に追加合格すれば、新たに入学金(私大の平均約25万円)を払い、その大学に入学する学生が多い。大学の場所によっては、下宿先を変えなければならず、入学直前に進学先を変更するコストはさらに増える。

今春の入試で、2月に大阪の私大に合格したが、3月下旬になってより志望順位の高い京都の私大の追加合格を得た男子大学生は「入学金が余計にかかったので親に悪いと思ったが、仕方がなかった」と語った。 以上引用終了

この基準変更で、私大の難化は緩和されるわけはありませんが、昨年の上智大学のように合格者数の半数が繰り上げ合格というような異常な状態が改善され、生徒にとっても大学にとってもいい方向に向かうことを期待したいと思います。

国の鶴の一声で大きく変わる制度、それによって振り回される学生、この構図は昔も今も変わらないですね。

私は、初めて共通一次試験が導入された翌年の受験生でした。文系科目が苦手だった私は数学と物理化学で受験できることを望んでいましたが、共通一次試験の導入でがっかりしたことをこのような変更がある度に思い出します。

お上の鶴の一声で庶民が振り回されることは嫌なことではありますが、それに不満を募らせるだけでは何も得るものがありません。変化に対応できるように備えていきたいものです。

やる気相談室

泣虫

最近の高校生は泣虫になったそうです

まいりました。

先日、糸島高校の先生二人と糸島市役所の職員(元糸島学習塾YESの元講師)と四人で食事に行きました。その時に一人の先生が言った言葉に正直驚いてしまいました。

「最近の男子高校生は叱るとすぐに泣くんです

私は高校生の男子が小学生のように泣くところを見たわけではないので、正直信じられなかったのですが、その後、いろんな方に聞いてみたらやっぱりそんな状況のようです。

最近、昔みたいに頑固おやじがいなくなり甘くなっているとは感じていました。まさかここまで変化しているとは正直びっくりでした。

これだと集団生活を指導する学校の先生や企業の方は本当に大変だろうなあと思いました。

よ。昔の高校生は叱られると睨み返すような奴はいても小学生のように泣く奴はいなかったんですね。すると今度は市役所の職員が「わかる、わかる、うちも折角いい大学出て難関の公務員試験を合格したのに、ちょっと叱られたら耐えられなくてやめてしまう職員が多いんですよ」とのことでした。

私も経営者仲間から新入社員の定着が悪いとの話はよく聞いていましたが、まさかこんな状態になっているとは正直驚いてし

ていました。今思うと叱られた経験がないから叱ることが出来なかったのかもかもしれません。

先日、保護者様に子育てコーチングの勉強を実施し、そこでもお伝えしたのですが、コーチングで褒めることも認めることが広まったことで、叱ってはいけないという誤解も広がっています。叱る所はしっかりと叱って、「叱る」と「褒める」のバランスを取ることがとても重要です。褒めたり認めたりすることは行動を変容させるための手段なのです。

良く「最近の親は子供と友達のようだと

とも言われるようになりました。仲が良いことはとても素晴らしい事だと思いが、時には嫌われ役になって叱ることも必要だと考えています。

ただ、うちの塾でもそのような兆候がなかったわけではありません。生徒を叱れる大学生が極端に少なくなってきたので。以前の大学生は小学生や中学生があまりにも言うことを聞かなかつたら、たまに生徒を叱りすぎて生徒を泣かしてしまつことがありました。そこで私が保護者様にその経緯を説明したりしていたのですが、最近はそのような先生はめったにいません

家庭が子供にとってとても居心地の良い空間になっていくのは良いのですが、それによって社会に不適合な大人になっていくては困るのです。社会の荒波に出ても負けないような子育てをしたいものです。

道法 正徳 監修

野菜の垂直仕立て栽培

書籍紹介

コロナで家庭菜園を始めた方が増えています。(私もその一人です^^)家庭菜園なら無農薬にこだわりたい、化学肥料は使いたくないという方も多いと思います。また、家庭菜園を始めたはいいが、虫が来て困る、手間が掛る、なかなか育たない、そもそも場所が無い等やりたいけどなかなか手が出ない方やあきらめて方もいらっしゃるのではないかと思います。そのような方に朗報です。まさに目からうろこの栽培法がこの垂直栽培です。植物を育てる上で手間もかかり技術に差が出るのが、剪定して日当たりの良い樹形を保つことです。この垂直栽培を最初YouTubeで見た時は正直そんなはずはないと疑心暗鬼でした。しかし、共同農園の友人がジャガイモ栽培でやっていたのを見ていたら、支柱に縛り付けただけで成長の具合が際立っていたので本を買って勉強を始めました。野菜を垂直に縛り上げると葉の先端でオーキシンというホルモンが生成され、垂直なほど根に流れ根が発達します。根の先端ではサイトカイニン、ジベレリンが生成されて上部に伝わり葉等が育つという好循環がうまれます。しかも、肥料は不要で耕す必要もないのです。まさに自ら発する植物ホルモンの力で野菜が育つ栽培法です。食料や肥料の高騰が叫ばれる中の救世主かもしれません。

